

かがやき

題字／旭岡聖順

第20号

平成26年9月1日
(公財)佐野市民文化振興事業団
〒327-0398
栃木県佐野市田沼町974-1
佐野市文化振興課内
電話 0283-62-9554
<http://kagayaki.sanocity.jp/>



高さ 260 × 幅 190 × 奥行き 260(cm) 『記憶の彼方から (90-1)』 作・吉川廸之

主な記事

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ● 理事長あいさつ 太田哲夫 1 | ● 助成事業について 6 |
| ● 財団20年のあゆみ 2 | ● 美術館へ行ってみよう 7 |
| ● 識者コラム 笹川むもん 3 | ● 公益財団紹介 No.2 7 |
| ● 平成25年度事業報告 4 | ● 文化芸術アンケートについて 8 |
| ● 平成26年度事業計画 5 | ● これからの事業 (裏表紙) |

理事長あいさつ



公益財団法人
佐野市民文化振興事業団

理事長 太田 哲夫

お陰さまで当事業団は、当平成26年度に発足以来20年目を迎えることができました。佐野市民の皆様方には、この間、当事業団の諸活動に対し多大なご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

設立目的として”本市の芸術文化活動の振興、芸術品・文化財等の収集保護および歴史的環境の保護並びに文化的環境の整備促進を行い、市民の文化生活の充実に寄与すること”を掲げ、財団法人佐野市民文化振興事業団として平成6年3月8日に発足、初代理事長に菊池登様が就任し、平成6年度に募金活動を開始しました。

平成6年度には、個人の方および法人・団体をいただき、佐野市からの基本財産として1億円の出損金を加えて合計1億4,362万円のご寄付をもって活動を開始し、平成8年3月に旭岡聖順様が2代目理事長に就任されました。平成25年度までに個人の方より11,707件

1億3,457万円、法人団体より2,116件2億5,898万円、合計13,823件3億9,355万円のご寄付をいただき、佐野市からの出損金5億円を加えて8億9,355万円の財産の債券運用益をもって事業を展開させていただいております。

この20年間、経済のデフレ化を始め当事業団を取り巻く環境が大きく変化するに至り、設立目的を全うするのは困難になりましたが、平成24年4月1日には公益財団法人佐野市民文化振興事業団として新たなスタートを切り、平成26年度を迎えていきます。

設立20周年を迎えて

改めまして発足以来20年目を迎えるに当たり、ご寄付を戴いた方々並びに事業活動にご参加・

ご協力をいたいたいた市民の方々、そして各種講座の講師を務めていたいたいた先生方のご指導に対し深く感謝申し上げます。また歴代理事長を中心とした役員、評議員並びに事業選考委員会の方々、毛塚市長、飯塚市長、現岡部市長を始め佐野市の行政当局・事務局の方々のお力添えに対しても併せて深甚なる感謝の意を表する次第であります。

当市においては、市民の皆様が幅広く自ら文化活動に携わっていることを誇りとするところで、当事業団でも人材育成事業や助成事業に力を置いています。本年度も「子ども演劇サマ

ースクール」を始め好評な体験型の講座を充実させて提供します。また今後の活動に資するため文化・芸術に関するアンケートを実施します。

更に、本年度は設立20年を記念して、岡部市長のご支援をいただき、平成27年8月に竣工予定の新市庁舎の駐車場の一角にモニュメントを設置・寄託する準備に入りました。制作は佐野市に在住の吉本義人先生にお願いすることで、



当事業団の事業選考委員会を経て理事会および評議員会において機関決定しております。吉本先生は東京芸術大学彫刻科をご卒業の後、佐野市内の工房を拠点に優れた立体的な芸術作品を創作され、国内外で高い評価を寄せられておられます。3年来佐野市文化会館で「R293美術展」の開催を主宰して地域の若手芸術家の支援にも携わっております。市民の皆様には作品に直接していただき、アートの真価を感じ取っていただきたいと思います。どうぞご期待ください。

佐野市民文化振興事業団 20年のあゆみ

年	主な出来事など																		
平成6年3月8日	<p>当財団設立。菊池登氏、事業団理事長就任（初代）。 設立財産として、市出損金5,000万円。顧問1名、理事22名、監事2名、評議員43名。</p> <p>●設立目的 本市の芸術文化活動の振興、芸術品、文化財等の収集保護及び歴史的環境の保護並びに文化的環境の整備促進を行い、市民の文化生活の充実に寄与すること。</p>  <p>☆設立目的を達成するための基本的な事業 ①芸術、文化活動の振興に関する事業 ②芸術品、文化財等の収集保護に関する事業 ③歴史的環境の保護に関する事業 ④文化的環境の整備促進及び文化施設の管理運営に関する事業 ⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>																		
平成6年度事業	<p>★普及啓発事業…事業団に関するリーフレットの作成、周知。</p> <p>★芸術・文化活動振興事業…文化会館で開催された市民文化祭への事業協力。 東京都で開催された本市出身の日本画家松本哲夫展の鑑賞。</p> <p>★芸術品・文化財等収集保護事業…無形文化財技能保持者及び民俗文化財の映像記録作成のため企画書作成。 田中正造旧宅に案内板の設置。</p> <p>★設立目的達成に向け、佐野市文化振興事業募金委員会の設置</p>																		
平成8年3月25日	旭岡聖順氏、事業団理事長就任（二代目）。																		
平成9年度	★歌舞伎鑑賞教室（演劇鑑賞教室）事業開始…国立劇場や明治座などで演劇の鑑賞。																		
平成11年度	★事業団シンボルマーク決定																		
平成13年度	★5万円を上限とする、文化団体への助成事業開始 現在は、1団体15万円を上限とする、助成事業を展開。																		
平成16年度	★事業団ホームページ開設 ★特別開催事業の開始 栃木県立美術館館外展等で作品展を開催。																		
平成17年7月21日	太田哲夫氏、事業団理事長就任（三代目）																		
平成23年度	☆公益財団法人移行登記へ向け、従来の事業を、「演劇鑑賞事業」、「企画展共同開催事業」、「芸術・文化活動助成事業」として整備。																		
平成24年4月1日	★「芸術・文化に関する人材育成事業」として、「子ども演劇サマースクール」、「舞台裏方講座」、「アートマネジメント講座」を新たに追加。																		
平成25年度	平成25年度 子ども演劇サマースクール 閉会式後の記念写真▶																		
平成26年4月10日	☆太田哲夫氏を事業団理事長に、「公益財団法人 佐野市民文化振興事業団」として新たなスタート。																		
平成26年4月17日	★平成25年度事業選考委員会、理事会、評議員会において、平成26年度事業団事業として、佐野市に美術品（モニュメント）を寄託することが承諾される。 ★当財団20周年及び新庁舎建設を記念して、美術品寄託の目録を佐野市長に贈呈 広く市民の方に、すぐれた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、芸術に親しみを持っていただくことを目的に、多くの方が集まる新庁舎へ、地元在住の芸術家である吉本義人氏のモニュメントを設置することを決定。 ★文化・芸術アンケートの実施																		
平成25年度までの寄附状況は次のとおりでした																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">法人・団体等</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,707</td> <td>134,570,400</td> <td>2,116</td> <td>258,985,600</td> <td>13,823</td> <td>393,556,000</td> </tr> </tbody> </table>		個人		法人・団体等		合計		件数	金額	件数	金額	件数	金額	11,707	134,570,400	2,116	258,985,600	13,823	393,556,000
個人		法人・団体等		合計															
件数	金額	件数	金額	件数	金額														
11,707	134,570,400	2,116	258,985,600	13,823	393,556,000														
※平成22年度以降、寄附の受入はありません																			
※ほかに、市出損金（5～14年度）が5億円あり、合計資産893,556,000円を元に購入した債券の運用益により、公益事業を展開しています。																			

事業団シンボルマーク



SANOの頭文字「S」と無限マーク「∞」をモチーフに市民 Citizen の「C」文化 Culture の「C」を組み合わせました。

大きな「S」の躍動と連続で「芸術文化の振興」全体で「市民参加と活力」をイメージしています。色はブルーで調和と大局を表しています。



▲ 美術品寄託目録の贈呈のようす

コラム

闘^{せめ}ぎ合^うう

変化の狭間で



彫刻家
 笹川 むもん



ります。シャガの葉の上に初雪が降りますと、これが思いのほか美しいのです。細長い葉が弧を描き、白と黒のコントラストの効いた鋭い鎌状の、まさに美しい青海波模様に変化します。

しかし、この美しい

光景は雪が地面を真っ白に覆ってしまうまでのほんのひとときです。

微妙な時間の狭間でしか見られないのです。このシャガと雪との関係から感じたことは、

何かが変化しようとして揺らぐ瞬間、わずか

な闘ぎ合いの狭間に、深くて広い感動の要素が秘められているということです。

刻々と変化する日の出や夕焼け空、海岸の岩と波、湖の細波やそれを包み込む朝霧。雲、風、雷：壁や道路のヒビ割れに至るまで、物と時間

の概念を変えて見れば、この世の中のすべての物が変化の途中にあるわけです。その行先に何が起こるか分からぬ不安定さ、そこには無尽蔵な魅力が潜んでいると思うのです。

私の仕事も一見、意味の無いわからない何か

に冒險的なチャレンジをして、揺れる感情や衝動を何らかの表現でカタチに残すこと。こんな生活が続けられたら理想的な仕事の極みだと思ひます。シャガは多年草で一年中葉を繁らせています。北陸の冬は佐野市と違つて必ず雪が降

ります。佐野市から富山の山里に移り住んでいます。環境の違いを大いに楽しんでおります。

道筋には様々な植物が勢力争いをしながら陣取り合戦をしているようです。その結果というか、私のアトリエ周辺にはアヤメ科の「シャガ」がビツシリと一大群生地を作り、勢力を誇示しています。シャガは多年草で一年中葉を繁らせています。北陸の冬は佐野市と違つて必ず雪が降

1954 (S29)	栃木県佐野市に生まれる
1972	三代目加茂蕃山に師事
1979	富山県井波町（現・南砺市）
1986	富山県美術展 県展大賞受賞
1984~86	日影展 奨励賞連続3回受賞
1987	富山県美術展 県展大賞受賞
1993	日影展 日影賞受賞
1997	第26回現代日本美術展 佳作賞受賞
1999	マロニエ文化賞受賞
2001	第14回国民文化祭・ぎふ彫刻コンクール 文部大臣賞受賞
2002	木彫展とミクストメディア展 第5回至高の精神展「興廢風雅」
2003	トリエンナーレ2003神通峠美術展
2006	となみ野美術展2006 大賞受賞
2007	第45回アートナウKANAZAWA 中日大賞受賞
2010	全国木彫コンクール井波 いなみ国際木彫刻キャンプ賞受賞
2013	笹川むもん彫刻展「MUMONISM!」 笹川むもん彫刻展「四十年目の帰省」

（佐野市民ギャラリー（佐野未来館2階））



笹川無門作品展『二河白道』より

平成25年度事業報告及び収支決算

平成26年5月8日、26日にそれぞれ開催された、平成26年度第1回通常理事会及び平成26年度定時評議員会において、平成25年度の事業報告並びに収支決算が承認されました。

■演劇鑑賞教室事業

内 容 文楽『菅原伝授手習鑑』の鑑賞
期 日 平成25年12月6日（金）
場 所 国立劇場（東京都）
参 加 者 40人
参 加 者 負担金 6,000円

■企画展共同開催事業

- 美術鑑賞ツアーネットワーク

内 容 市内の美術館等をまわるバスツアー
期 日 平成25年11月6日（水）
場 所 第7回佐野ルネッサンス鑄金展、
佐野東石美術館、吉澤記念美術館、
安藤勇寿「少年の日」美術館
参 加 者 43人

■芸術・文化に関する人材育成事業

- 子ども演劇サマースクール

期 日 平成25年7月23日（火）～27日（土）
場 所 葛生あくとプラザ
講 師 加納朋之氏ら文学座の俳優7名
参 加 者 57人



（↑子ども演劇サマースクールのようす）

平成25年度佐野市学校芸術祭演劇祭への協力
期 日 平成25年9月5日（木）、6日（金）
場 所 葛生あくとプラザ
内 容 文学座の俳優2名を審査員として派遣

- アートマネジメント講座

期 日 平成25年11月23日（土）、
24日（日）、30日（土）、12月1日（日）
場 所 佐野市文化会館204、205会議室
講 師 松井憲太郎氏
（富士見市民文化会館長）
参 加 者 11人



（左：舞台裏方講座のようす
右：アートマネジメント講座のようす）

- 舞台裏方講座

期 日 平成26年1月18日（土）、19日（日）
場 所 葛生あくとプラザ
講 師 龍福孝明氏、岩上添典氏
（ともに宇都宮舞台サービス）
参 加 者 23人

■芸術・文化活動助成事業

- コール・アザレア30周年コンサート

期 日 平成25年4月14日（日）
場 所 佐野市文化会館小ホール
主 催 コール・アザレア
- 唐沢山城跡国指定化に伴う
「波に巻子形兜 号 龍綺」の修理事業

主 催 唐澤山神社

■共通事業

- 事業団報『かがやき』第19号の発行

発 行 平成25年9月1日
体 裁 A4版、8頁
部 数 45,700部（市内全戸配布）
- 文化団体への後援

内 容 12事業に後援しました

[貸借対照表]

平成26年3月31日 現在(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	6,523,574
2. 固定資産	502,638,064
(1) 基本財産	430,377,065
(2) 特定資産	3,536,699
(3) その他固定資産	936,551,828
固定資産合計	943,075,402
資産合計	
II 負債の部	
1. 流動負債	2,633
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	898,752,510
（うち基本財産への充当額）	(502,905,914)
（うち特定資産への充当額）	(395,846,596)
2. 一般正味財産	44,320,259
（うち基本財産への充当額）	(2,262,096)
（うち特定資産への充当額）	(34,542,469)
正味財産合計	943,072,769
負債及び正味財産合計	943,075,402

事業選考委員および 事務局職員の異動について

平成26年4月1日付、佐野市職員人事異動に
伴い、次のとおり異動がありました。

事務局長	事業選考委員の異動	
	新…	旧…
新… 浅野 良一（文化振興課長・昇格）	落合 幸男（産業文化部長・昇格）	
旧… 三関 浩司（監査委員事務局長・昇格）	慶野 昇（退職）	
定時評議員会において、承認されました。		

歌舞伎鑑賞教室

去る7月3日(木)に東京・国立劇場にて、歌舞伎鑑賞教室を開催しました。268名の応募の中から当選された40名の方々に、「歌舞伎のみかた」、歌舞伎「傾城反魂香」を鑑賞していただきました。参加者からは「歌舞伎を初めて観たが、たいへんおもしろかった」など好評でした。

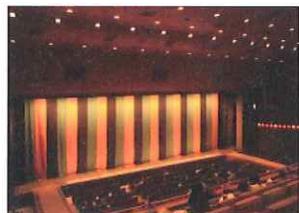


平成26年度事業計画

「すべての市民が優れた文化環境のもとで、潤いと活力のある生活を営める地域社会の創造」を目的に、佐野市民の芸術・文化活動の振興を図るために、次の事業を行います。

■演劇鑑賞教室事業

- 歌舞伎鑑賞教室



■芸術・文化に関する人材育成事業

- 子ども演劇サマースクール
佐野市学校芸術祭演劇祭への協力
- アートマネジメント講座
- 舞台裏方講座



■芸術・文化活動助成事業

- 芸術・文化活動助成金
(1団体につき最大で15万円交付)

■企画展共同開催事業

- 美術鑑賞ツアーアー

[行程] 佐野市文化会館(集合)→①安藤勇寿「少年の日」美術館→②吉澤記念美術館→③佐野東石美術館→佐野市文化会館(解散)

■共通事業

- 事業団報『かがやき』の発行

平成26年9月1日発行、市内全戸配布

- 広報誌・インターネットの活用

事業のPRのために、市の広報誌や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信します。



派遺しています。

※佐野市学校芸術祭演劇祭への協力
当事業団では、9月の学校演劇祭に文学座の俳優2名を審査員として

小学4年生から中学3年生の40人が参加。「シアターゲーム」などで发声や表現方法などを学び、最終的には大ホールで5日間の練習の成果として、原案(フランク・パヴロフ、山谷典子(サマースクール講師)作、「茶色の朝」)を発表しました。

参加者からは、「みんなで大きな声でしゃべったり、いろいろ新しいこと(シアターゲーム)ができる面白かった」という声があり、大変好評でした。



事業選考委員会										評議員会										(公財)佐野市民文化振興事業団 評議員・役員一覧 (順不同)											
市産業文化部長	落合	岩船	幸男	市産業文化部長	落合	岩船	幸男	アドバイザー	松井憲太郎	監	監	理	理	理	理	顧事	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	
学識経験者	評議員	評議員	評議員	学識経験者	評議員	評議員	評議員	アドバイザー	松井憲太郎	監	監	理	理	理	理	事長	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員		
学識経験者	評議員	評議員	評議員	学識経験者	評議員	評議員	評議員	旭岡	旭岡	寺岡	寺岡	金尾	金尾	佐野	佐野	菊池	小野	太田	太田	岡部	島田	島田	渡邊	渡邊	嘉内	嘉内	昭	昭	靖人	靖人	
市産業文化部長	落合	岩船	幸男	市産業文化部長	落合	岩船	幸男	片柳	片柳	富司	富司	正行	正行	宏行	宏行	ナツ	哲夫	哲夫	正英	片柳	片柳	島田	島田	大芦	大芦	一義	一義	宏	宏	旭岡	旭岡
学識経験者	評議員	評議員	評議員	学識経験者	評議員	評議員	評議員	三郎	三郎	篤	篤	仁	仁	正	正	問	昭	昭	正英	嘉内	嘉内	昭	昭	靖人	靖人	宏	宏	宏	宏	靖人	靖人

大師円仁について、⑤江戸期戦国大名から旗本として生きた佐野氏、
⑥神道と日本文化

この講座には、佐野市内外から
延べ五九八名の参加がありました。

本会では、今後もこの講座を積極
的に開催することを考えております。
市民の皆様のご支援を引き続
きお願いいたします。

「栃木県有形民族文化財」に指定されたことは、大きな成果でした。現在、本文化財の保管状態の改善や資料整備を進め、併せて後継者育成活動を実施中ですが、さらに「国指定重要文化財」に格上げを次の目標とした活動を進めております。佐野市民文化振興事業団ならびに行政の益々のお力添えと、市民の皆様のご理解とご支援を心からお願い致す次第です。

安蘇史談会は、一九八四（昭和59）年に発足し、毎年、歴史講座の開催、会報『史談』の発行を行い、月2回の例会で会員相互の研鑽に努めてきました。

本年も、歴史講座を4月12日から5月24日の土曜日に6回、佐野市城北地区公民館で次のテーマで開催しました。

①唐沢山城跡の国指定史跡化と
今後の展望、②重要文化財エラスムス木像は、なぜ龍江院に秘蔵さ

このたび、平成26年度芸術・文化活動助成事業として『佐野市を代表する文化財、天明鑄物の保護と継承活動』が取り上げられ、感謝に絶えません。

● 安蘇史談会
事業成助
会長 京谷 博次
安蘇史談会30周年記念
安蘇の風土と歴史講座

●天命鑄物伝承保存会

右林洋一 財保護と 継承事業

●R293美術展実行委員会



(文)野口徳雄

R293美術展は4年前に発足し、地域の現代美術作家を中心いて、地域で活動できることの喜びの大ささについて話す。特徴として、本年度はワークショップを中心とした文化会館だけでなく図書館とも協力しながら、より市民の方に近い活動を目指していました。多くのご参加とご協力をありがとうございました。代表の伊藤七男さんは、オープニングにおいて、活動を通して、なぜ現代美術の文化活動が重要なのかをこれからも説いていくことと、地域で活動できることの喜びの大ささについて話す。

個性豊かな地域文化を創造する事業で将来性のあるものなどで、何十周年記念という規模の大きなものも対象となります。但し、企業や学校のサークル・部活動は対象外です。また、行政等からの補助を受けているものについては、その補助額を除いた額の一部を助成対象とします。

その他の要件はお問合せ下さい。

当事業団では、芸術・文化活動や伝統文化の保存継承を支援しています。地域の特色を活かしながら、

平成26年度助成事業を紹介します！

安蘇史談会30周年記念
安蘇の風土と歴史講座

佐野天明鑄物の文化財保護と 代表 若林 洋

H293 summer 2014
+ワークショップ作品選

平成27年度
助成事業募集

芸術の秋
美術館、博物館へ
行こう!!

佐野東石美術館

「佐野東石美術収蔵木彫名品展
—心の祈り—」

9/19(金)～12/21(日)

<http://www.toseki.com/museum/museum.htm>

栃木県佐野市本町2892

TEL0283-23-8111



佐野市郷土博物館

「くらしのうつりかわり
～古い道具と昔のくらし～」

2015年1/4(日)～2/11(水)

<http://www.city.sano.lg.jp/city-museum/>

栃木県佐野市大橋町2047

TEL0283-22-5111

佐野市立吉澤記念美術館

「おかえりなさい、伊藤若冲
〈菜蟲譜〉修理完了披露展」

11/1(土)～12/14(日)

<http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

栃木県佐野市葛生東1-14-30

TEL0283-86-2008



佐野市立吉澤記念美術館

今回は、佐野市のお隣、足利市で事業を開している「公益財団法人 足利市みどりと文化・スポーツ財團」をご紹介します。

管理施設 研修センター、
渡良瀬グリーンプラザ、松田川ダムふれあい広場、サイク



ジュニアスポーツ教室
「サッカー教室」

足利市の指定を受け、公園緑地文化・スポーツ施設の管理運営を行っています。平成25年4月1日から、公益財團法人に移行しました。

平成18年4月1日からは、足利市の指定を受け、公園緑地文化・スポーツ施設の管理運営を行っています。平成25年4月1日から、公益財團法人に移行しました。

ASHIKAGA
**足利市みどりと
文化・スポーツ財團**

所在地
電話
<http://www.ashikaga-mbs.or.jp/index.php/>
足利市大橋町1-2007-3
0284-44-6886

第一回定期演奏会
オーケスター

施設管理等
施設貸与
等事業(公
益目的以外)
教室
市立美術館の
施設管理等



●収益事業
☆スポーツ事業…講座・講習・
施設貸与
教育成、公演、イベント・体験
講習・育成



春季緑化まつり
「ラッピング体験」

事業内容

●公益目的事業
☆緑化事業…

イベント・体
験教室、フェア・展示会、コ
ンテスト、緑化推進

☆文化事業…公演(音楽、演劇、
映画等、各種芸術公演)、講座、
育成、公演、イベント・体験

イベント・体
験教室、フェア・展示会、コ
ンテスト、緑化推進

☆文化事業…公演(音楽、演劇、
映画等、各種芸術公演)、講座、
育成、公演、イベント・体験

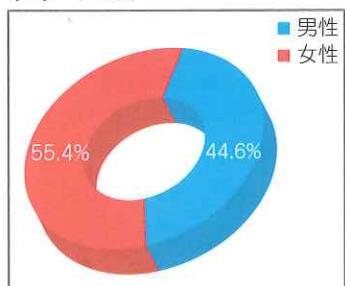
ルランド、中橋緑地多目的広
場、緑化センター、公園緑地
及び街路樹等、渡良瀬ウオ
ターパーク、市民プラザ、男
女共同参画センター、市民会
館、総合運動場、渡良瀬運動場、
御厨テニスコート、市民体育
館、市民武道館

文化・芸術アンケートについて

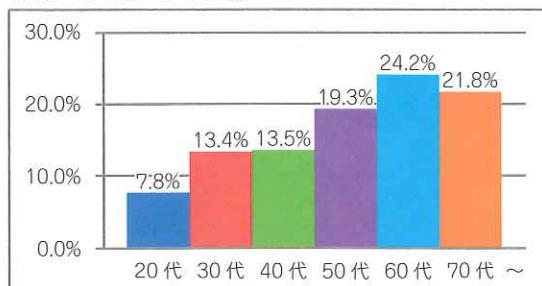
本アンケートは、佐野市が目指すべき文化・芸術等の方向性を明らかにし、当財団として取り組むべき課題などを確認し、市民の文化・芸術等に対する意識や考え方などを把握するため、平成26年4月に初めて実施したものです。多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

☆調査結果（抜粋）

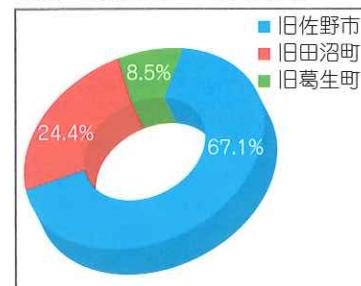
（1）性別



（2）年齢（年代）

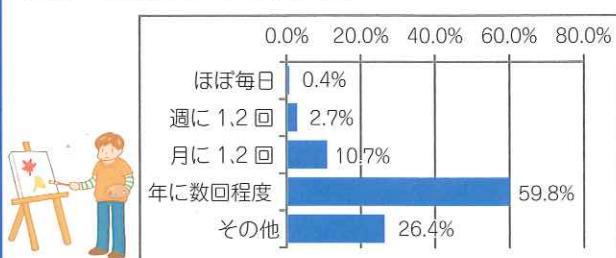


（3）お住まいの地域



文化・芸術等に関する活動状況について

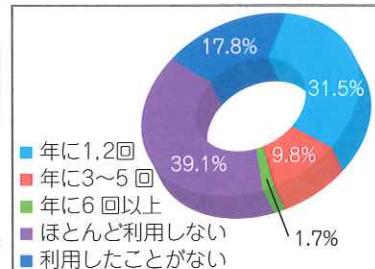
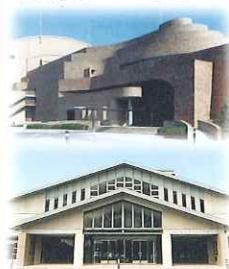
あなたは普段、どのくらいの頻度で文化芸術を鑑賞・体験されていますか。



アンケート結果によると、「年に数回程度」文化芸術を鑑賞・体験されている方が最も多く、全体の6割を占めていることがわかります。

佐野市内の文化施設について

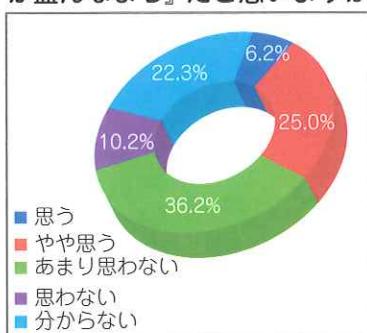
佐野市文化会館、葛生あくとプラザをどの程度利用していますか。



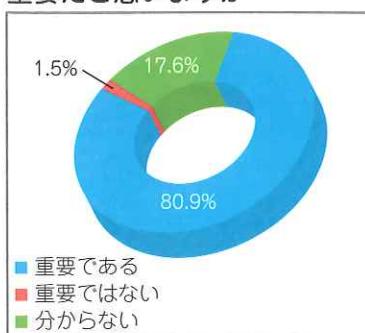
アンケート結果によると、「ほとんど利用しない」が39.1%と最も高く、次いで、「年に1,2回」が31.5%、「利用したことない」が17.8%と続きました。

文化・芸術等に関する佐野市のイメージについて

（1）佐野市を『文化芸術活動が盛んなまち』だと思いますか



（2）子どもの文化芸術体験を重要だと思いますか



アンケート結果によると、「佐野市を『文化芸術が盛んなまち』だと思いますか」という質問について、「思う」・「やや思う」と回答した方が合計で31.2%であるのに対し、「あまり思わない」・「思わない」と回答した方が合計で46.4%となっています。

それに対し、「子どもの芸術体験を重要だと思いますか」という質問については、「重要である」と回答した方が全体の8割を超えていることがわかります。

当財団としましては、子どもに対する文化・芸術体験事業の拡充をはかり、佐野市を『文化芸術が盛んなまち』と発信できるよう、努めたいと考えています。

● 詳しい調査結果内容については、財団ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
また、財団ホームページでは事業・イベント情報を随時発信しています。

財団HPのURLはコチラ！

QRコード読み取はコチラ！

今からでも間に合います

事業団の事業に参加してみませんか?

(公財)佐野市民文化振興事業団
お申込みは 〒327-0398
栃木県佐野市田沼町974-1
(佐野市田沼町舍文化振興課内)
TEL 0283-62-9554
FAX 0283-62-8929

第2回わいわいギャラリー(アートマネジメント講座)

☆お茶を飲みながら、佐野にゆかりのあるアーティストと気軽にお話をしてもみませんか?
☆第1回わいわいギャラリー(8月23日開催)では、佐野市在住の画家安藤勇寿さんをゲストにお迎えしました。

とき：12/21(日)13時30分から

ところ：佐野市文化会館 ホワイエ

ゲスト：未定(詳細は広報さの11月号に掲載予定)

募集：30名(予約可)

参加費：無料(飲み物付き)

定員になり次第締切

企画：文化サロンさの。



佐野市文化会館 ホワイエ



★文化サロンさの。とは?

(公財)佐野市民文化振興事業団が開催した「アートマネジメント講座」受講生たちが企画・運営する初の実践事業。講座を通して、「佐野市にずっと暮らしきりたい」と感じられる街づくりをしよう、未来に向かって子どもたちの文化環境を耕すことから始めよう、のコンセプトでスタートしています。

賛同していただける市民のみなさんの協力を求めていきます。

舞台裏方講座

コンサートの準備から、リハーサル、本番までを体験してみませんか?

当日は、音響グループ、照明グループに分かれ、講座を行います。なかなか触れることの出来ない機材に触れるチャンスです。

2015年
とき：1/31(土)、2/1(日)

ところ：葛生あくとプラザ

募集：20名(高校生以上)

参加費：無料

講師：龍福孝明氏(文化会館スタッフ)

定員になり次第締切

(申込時に音響・照明コースの希望を教えてください)

編集後記

吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品は、佐野市在住の造形作家。表紙は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から。作品は、朴(ぼう)ノ木を用い、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用された硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と信じられてきた。これにより朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想するのは、そんな「記憶の彼方から」來ているのではある。吉川廸之(よしかわみちゆき)氏は、佐野市在住の吉川廸之(よしかわみちゆき)氏の作品から、朱色は、カシュー漆を混ぜ合わせた硫化水銀を塗りあげたことにより表れたものである。防腐処理として使用される硫化水銀は古来より、その特性や外見化され、朱色はまた、生きる力と連想のは

美術鑑賞ツアー

市内の美術館を巡る小さなバスの旅です。特に今年は、吉澤記念美術館で、解体修理を行った伊藤若冲《菜蟲譜》をご覧になれます。修理後初公開となります。各美術館では、学芸員等の説明付です。



佐野東石美術館



安藤勇寿「少年の日」美術館

とき：11/5(水)13時30分～17時(予定)

集合：佐野市文化会館

募集：市内にお住まいの方

42名(先着順です)

参加費：無料

定員になり次第締切

行程

①安藤勇寿「少年の日」美術館→②吉澤記念美術館→③佐野東石美術館

お知らせ

吉川廸之作品展『記憶の彼方から』

日時：11月1日(土)～16日(日) 場所：佐野市市民ギャラリー

午前10時～午後4時まで お問合せ：佐野市文化振興課 0283-61-1164